

## 「2020年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－（素案）」 に対する御意見の概要

「2020年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－（素案）」の公表とともに実施した意見募集に対して、多数の貴重な御意見・御提案をお寄せいただきました。

ここに、お寄せいただいた主な御意見の概要を紹介するとともに、「2020年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－」を策定するにあたっての都の考え方をお示しいたします。紹介する御意見の概要は、その趣旨を考慮し、類似の御意見等の集約を行い、代表的な御意見として掲載しております。

なお、素案に対する直接的な御意見でないものについては、今後の取組の参考とさせていただきます。

### 1 募集概要

- 募集期間 平成27年11月20日（金）から平成27年12月4日（金）
- 意見方法 郵送、FAX、電子メール

### 2 結果

- 意見数 143件
- 主な御意見の概要と都の考え方 別紙のとおり

# 「2020年に向けた東京都の取組(素案)」に対する主な御意見の概要と都の考え方

テーマ	主な意見(要旨)	都の考え方(「2020年に向けた東京都の取組」に反映)
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次計画の作成など、素案に盛り込まれた取組を着実に実行すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会に向けた「行動計画」を掲載します。</li> </ul>
1 競技施設 選手村 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベイエリアの競技会場への交通アクセスの強化が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベイエリアの幹線道路整備、BRT、路線バス、舟運、シェアサイクルなど、多様な取組によりベイエリアの交通利便性を向上させます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手村にユニバーサルデザインを取り入れて欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サインデザインの統一やバリアフリー対応を図り、高齢者や外国人など、誰もが移動しやすい環境を整備します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害、犯罪、テロなど、安全・安心への取組を計画に位置付けるべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内横断的な安全・安心部会を設置し、官民一体となった危機管理体制を構築します。</li> </ul>
2 スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の壁へのバスケットボールのゴール取付など、身近なスポーツへの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区市町村のスポーツ施設整備を支援するなど、いつでもどこでもスポーツができる環境を整備します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者が日常的に運動できる環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校の活用を進めるとともに、区市町村でのスポーツ施設のバリアフリー化や障害者スポーツ教室開催を支援するなど、障害者スポーツの環境整備を推進します。</li> </ul>
3 都民参画 ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>気運醸成などで、あらゆるステークホルダーが主体的に参画できる大会とすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気運醸成やボランティアなど、都民参加の多種多様な機会を提供していきます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア文化の定着が重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアの裾野を拡大するとともに、ボランティア・コーディネーターの充実や、表彰制度の導入などインセンティブの付与等により、ボランティア文化の定着に向けた取組を推進します。</li> </ul>
4 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化活動で、公園・道路等を活用できる仕組みづくりが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市のあらゆる空間を活用して、史上最高の文化プログラムを展開します。</li> </ul>
5 オリンピック・ パラリンピック教育 多様性の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>パラリンピックを機にハード面でのバリアフリー化が進み、また障害や障害者スポーツへの理解が進むことを切に期待している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市のバリアフリー化、教育を通じた障害者への理解促進、心のバリアフリー、情報バリアフリーの推進等により、共生社会を実現していきます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会・経済の成長をリードする人材の育成を中心に据えるべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック・パラリンピック教育を通じて、多様な文化を尊重する心や国際感覚を醸成し、国際社会で活躍できる人材を育成します。</li> </ul>
6 環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手村で多様なエネルギーを活用して、世界の大都市が直面する環境・エネルギー問題に解決策を提示する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手村を水素社会の実現に向けたモデルとするとともに、太陽光発電を導入するなど、環境先進都市にしていきます。</li> </ul>
7 経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピックで多摩をもっとPRしてもらいたい。多くの観光客が多摩を訪れば、オリンピックの恩恵を感じる事ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様なメディアを通じて、多摩・島しょの魅力を国内外に広く発信するなど、多摩・島しょ地域の観光振興を進めます。</li> </ul>
8 被災地復興	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京大会の施設建設等で 工事業者が首都圏に集中し被災地の復興が遅れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災地とのスポーツ交流事業や、震災の風評・風化対策などを通じて、被災地の復興を後押ししていきます。</li> </ul>